

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【重点】国際的に活躍できる人材の育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学者数(大学等)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	104	690	1,034	1,380
現況値	1,379人/年(2018年度)	実績値	39	399	856	
目標値	1,380人/年	達成率	37.5%	57.8%	82.8%	
備考		達成度	1	2	3	

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学者数(県立高校)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	110	230	310	380
現況値	380人/年(2018年度)	実績値	1	70	359	
目標値	380人/年	達成率	0.9%	30.4%	115.8%	
備考		達成度	1	1	4	

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学者数(私立高校)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	70	150	200	250
現況値	243人/年(2019年度)	実績値	25	73	78	
目標値	250人/年	達成率	35.7%	48.7%	39%	
備考		達成度	1	1	1	

指標名	インターネットを介して海外の学校や大学等と直接交流をしている県立高校の数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	18	27	36	45
現況値	7校(2020年度)	実績値	22	32	35	
目標値	52校	達成率	122.2%	118.5%	97.2%	
備考	2023年度:42校(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	4	3	

3 関連する事業名

- ・未来をつくるグローバルチャレンジ応援事業
- ・夢に向かって世界に羽ばたけ!岡山の高校生応援事業
- ・ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業
- ・グローバル・リーダー育成拠点構築事業
- ・私立高校生留学支援事業

4 施策達成レベル

2.9	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>高校においては、生徒の実態に応じて4技能を統合した活動を重視し、生徒の発信力を強化するための取組を進めていくことで、高校3年生の英語力(英検準2級程度以上)が引き続き上昇傾向にある(2021年度:48.8%、2022年度:51.6%、2023年度:51.9%)など、一定の成果が見られる。</p> <p>海外留学や国際交流については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となったことや、海外への渡航についての制限が撤廃あるいは大幅に緩和されたことから、海外留学者数は前年度と比較して大幅増となった。また、オンライン国際交流コーディネーターを活用したインターネットを介した海外との交流促進により、交流実施校の増加につながった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

授業において生徒の英語による発話量を増加させたり、放課後等の授業以外でもALTと英語で話す取組を充実させるなど、生徒が日常的に英語に触れる機会を増やすとともに、英語ディベート大会等への参加者の一層の拡大に努めることで、生徒の英語力のさらなる向上を図る必要がある。

また、国際交流を経験する生徒のすそ野の拡大に有効であることから、オンラインによる国際交流をさらに促進させつつ、海外留学への意欲を喚起する機会を設けるとともに、留学プログラムの周知、留学支援制度の拡充やさらなる周知、民間の奨学金制度の活用、国際的なサミットに生徒を派遣し、その成果を次世代につなぐ仕組みを設けるなど、海外留学等を促進させるためのさらなる機運の醸成を図る必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【重点】 Society5.0に向けた人材の育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生 の参加者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	658	682	706	730
現況値	611人/年(2019年度)	実績値	405	705	806	
目標値	730人/年	達成率	61.6%	103.4%	114.2%	
備考		達成度	2	4	4	

3 関連する事業名

- ・サイエンスチャレンジ
- ・科学オリンピックへの道

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

全国規模のコンテストの情報を分かりやすく集約してホームページに示し、学校を通じて積極的な参加を働きかけたこと等により、2022年度と比較して各種コンテストの参加者数が増加し(2022年度:705人、2023年度:806人)、子どもたちのチャレンジする機会を大きく推進することができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

子どもたちのチャレンジする機会をさらに推進し、優れた能力、才能、個性を伸ばすため、子どもたちが活躍している様子を伝えたり、全国規模のコンテストの情報等にアクセスしやすくするよう専用のWebサイトを開設し、子どもたちがこのWebサイトを活用するよう働きかけていく必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	教育委員会 高校魅力化推進室
重点戦略	I 教育県岡山の復活	
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム	
施策名	【推進】時代の変化に対応した魅力ある学校づくり	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	高校生活に満足している生徒の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	92.0	93.0	94.0	95.0
現況値	91.5% (2020年度)	実績値	90.4	87.7	88.4	
目標値	95.0%	達成率	98.3%	94.3%	94%	
備考		達成度	3	3	3	

3 関連する事業名

- ・高校と地域で創る未来の学びプロジェクト

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none">・コンサルタント業者の支援によるカリキュラム開発、教育環境整備、コーディネーターの配置及び地域連携組織の設置等により、地域連携の更なる強化と生徒の学びの充実を推進した。これにより、地元自治体からの支援や協力が得られたり、外部人材の活用が推進されるなどの効果があった。・高校と地域との連携をより一層推進するため、外部連携組織から学校運営協議会への移行を推進した。・高校生探究フォーラムを実施し、総合的な探究の時間における様々な探究活動での成果を発表する場を創出することで、生徒の更なる学びの深化に加え、企業や大学との連携強化を図った。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none">・令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事や学習活動を制限せざるを得ず、満足度の低下につながったと思われるが、徐々に教育活動が再開されたことから、令和5年度は上昇した。今後も、満足度の上昇に繋がるよう、引き続き、教育活動の充実を図る必要がある。・生徒数の減少等により、県立高校への志願倍率が低下しており、特に小規模高校等の更なる魅力化・特色化に向けた自走体制を確立するとともに、地元中学生及び県内外からの志願者数の増加を図る必要がある。

2024年度 施策評価シート(2023年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 総務部 総務学事課
重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム
施策名	【推進】高等教育機関における実践的な人材育成等の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内の事業所に就職した学生の割合(県立大学)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	53.5	54.0	54.5	55.0
現況値	52.2%(2018年度)	実績値	53.9	48.0	48.1	
目標値	55.0%	達成率	100.7%	88.9%	88.3%	
備考		達成度	4	3	3	

3 関連する事業名

・県立大学と自治体・県内企業との連携促進

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県内企業等で勤務する卒業生による講義で在学時の学修や就職活動、現在の仕事について学ぶ「県大吉備塾」を10回開催し、参加した学生からは高い評価が得られた。また、県内中小企業からなる岡山県立大学協力会やシステムエンジニアリング岡山と協働した業種説明会を学内で開催し、県内企業が学生にPRする機会を提供した。若者の地元定着と地域活性化を目的とした副専攻「吉備の杜」では、実践的な学びや就業体験をしつつ県内企業への興味関心を高めることを狙ったインターンシップ関連の授業を75名が履修し、地域に貢献できる人材としての称号である地域創生推進士を23名、地域創生クリエイターを9名認定した。これらの取組を進め、令和5年度の学部の県内就職率は前年度を上回ったものの、目標には届かなかった。

6 今後の施策推進に向けての課題

上記の取組を実施しているものの、比較的県内出身率の低い情報工学部やデザイン学部の県内就職率が伸び悩んでいる状況であるため、地域や企業との協働により県内企業等の魅力を伝える取組などを一層進める必要がある。